

令和2年度教員免許状更新講習シラバス

講習の区分	【選択領域】受講者が任意に選択して受講する領域		
講習の名称	【選択】古文講読のための日本語の歴史		
開設日	令和2年9月21日(月・祝)	講習時間	6時間
主な受講対象者	小・中・高・特支教諭(国語)	受講人数	30人
講習の形態	インターネット講習		
担当講師	中里 理子		
講習のねらい・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・古典作品の言葉が現代語と異なっていることを、音韻、語彙、文法の面から理解し、古文講読の基礎となる日本語の知識を深めることを目指す。 ・仮名文字の影響を考え、中古の文学作品成立の背景を理解することを目指す。 		
講習内容	<p>日本語の変化について、中古(平安)・中世(鎌倉・室町)を中心に、音韻、文法、語彙、文字の面からたどっていく。奈良時代は、万葉仮名や上代特殊仮名遣いなど音韻を中心に解説する。平安時代は、仮名文字の発明と役割、ハ行転呼音など音韻の特徴、係り結びなど文法の特徴を見ていく。鎌倉・室町時代は、キリシタン資料などを手がかりとしながら、音韻や文法の特徴を考え、古代語から近代語への転換期であることを見ていく。江戸時代は主に身分差と語彙という観点から解説する。各時代の日本語の特徴を捉え、時代とともに変化していく様相を理解することで、古典作品の基本である日本語の知識を高める。</p>		
評価方法・基準	<p>パワーポイントによる動画を視聴した後、レポート課題を課し、提出されたレポートで評価する。</p> <p>認定試験 に関して</p> <p>講習3日に免許更新室からメールにて試験問題を交付します。 解答を受験者本人が自署にて行い、提出は免許更新室に郵送してください。</p>		
講習計画/講習内容			
開始時刻等	担当講師	内容	補足
I 9:00~10:30 (90分)	中里 理子	<ul style="list-style-type: none"> ・『万葉集』の歌に触れながら、万葉仮名と上代特殊仮名遣いを考える。 ・『古事記』の一節を講読し、当時の日本語を味わう。 	
II 10:45~12:15 (90分)	中里 理子	<ul style="list-style-type: none"> ・平安時代の仮名文字、音韻、文法の特徴を考える。 ・『蜻蛉日記』の一節を講読し、当時の日本語を味わう。 	
12:15~13:15	昼休み		
III 13:15~14:45 (90分)	中里 理子	<ul style="list-style-type: none"> ・キリシタン資料などから、中世の音韻を考える。 ・文法面での変化について解説する。 ・『徒然草』の一節を講読し、当時の日本語を味わう。 	
IV 15:00~16:30 (90分)	中里 理子	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代の音韻・文法の特徴を考える。 ・『浮世風呂』の一節を講読し階層と言葉の関連を見る。 ・日本語の歴史に関する小テストを行う。(40分程度) 	
講習(視聴)に当たって準備しておくもの	文学史や古典文法が確認できる本を手元において動画を視聴してください。		
予習について			
受講上の注意	令和元年講習「【選択】古文講読のための日本語の歴史」と内容が重複します。インターネット接続がある環境で受けてください。オンデマンド型の配信なので受講する時間帯は問いません。		